

# 令和8年度第3回北広島町まちづくり総合委員会 議事録(要旨)

---

日時：令和8年8月10日（月） 15：00～

場所：北広島町役場本庁 2階 会議室

## 1. 開会

## 2. 開会あいさつ

第3回を迎え、これまでいろいろなご意見をいただき、長期総合計画の全体像が見えて来たかと思う。本日も皆さんからの意見を伺っていききたい。

## 3. 委員紹介

欠席：栃藪委員、奥田委員、長本委員、上原委員、川本委員

## 4. 議事

### 第3次北広島町長期総合計画の策定について

委員

この町の価値を、未来の力に は前回協議したものか。

事務局

前はサブタイトルがついていた。関連が見えないというご意見があったので、サブタイトルを削った。

委員

この下の説明がサブタイトルの代わりのようなものか。

委員

そのような理解で良い。

委員

世界から愛され選ばれ続けるというところ、愛されるというと抽象的なので、別の表現にできないか。

委員

サブタイトルとしてのこの説明文の中で言いたいことが何点かあるかと思う。

事務局

大きく4段落となっており、2段落目が「この町の価値」の説明をしている。3、4段落が「未来」を表現している部分である。

委員

1段落目が少し気になる。他の2～4は前向きでポジティブだが、「人口の規模を追うだけのまちづくりから脱却し」というところがネガティブ。この文を入れた経緯が知りたい。

事務局

人口主義から脱却する。ある程度人口減少を認めた将来展望を描くイメージ。

委員

いろんな意見が出て、前回10年前のものを土台にした結果のものだと思う。「未来の力に」の後には「変える」という意味が含まれていると思う。つまり保守ではなく攻めていくという意見の表れ。さらに「みんなで」ということが書いてあることで、新しい挑戦への1歩やこの10年で良いコトに変えていくという意識があるものだと考えている。それで間違っていないか。

事務局

「変えていきます。」という表現も入れているが、魅力を見直す、高める、新たな可能性を発見していく、などのいろんな考え方がある。「未来の力に」の後の「。」をとっており、変えるということだけでなく、いろんな考え方が入るようにしている。

委員

途中までは私たちはという主語であるが、最後だけ「みんなで」となっており、なにか違うのか。

委員

町外からの人も入っているからではないか。

事務局

「私たち」は主体的な文章。最終的にはいろんな人と関わりあっていきたい。という意味。

委員

この町に集うすべての人という意味であるか。

事務局

その通りである。表現の問題でこのようになっている。

委員

書き方的に、3段目の最後が「若者をはじめとする多様な主体が、新たな課題解決や価値の創造に挑戦できる風土を築きます。」の方が良いのではないか。

4段目の最後が「持続可能で世界から選ばれ続ける北広島を共に創り続けます。」という方が締まって良いのではないか。

事務局

ここは一番に出てくる部分であり、町民の皆様が納得できるものにするべき。細かい話をすればいろんなものが出てくるが、一文字ずつ検討するのではなく、想いが表現されることかと思う。

気になるところや改善案などなんでも意見をいただければと思う。

委員

委員の説明でよくわかった。いろんな意味が込められる。覚悟の話は最初から出ていたところなので、ここから10年やっていくということを表していいと思う。言葉の整理もされると思うが、気になるのは「確かな」が二つあるので、あまり強調になっていないかもしれない。

また、「世界から愛される」のもちょっと違和感がある。「新しい感動が次々と生まれる風土」なのか。代案はないが、今まで出てきた話が反映されるといい。ネガティブなところも覚悟となるのであっても

よいかと思う。

防災面でのことを考えても、なにかあったときにこの町はゆるがない、そういった覚悟もあってよいかと思った。

委員

防災のことについては、その直後に「自然と共に歩み、誰もが安心して生涯を過ごせる」の部分で、ソフトに触れているが、もう少しはっきりした方がよいか。

委員

このまちに戻ってきたときに安心できるようにということだと思う。包括されて表現されているのならそれでも良いと思う。

委員

このメンバーでこの言葉をどう落とし込んでいくのかを決めたほうが良い。言い回しや表現などみんな価値観が違っていろいろあると思うが、町内のみんながわかっていて、同じ方向に向いて行けるようなものにしたい方がよい。

この言葉もっとシンプルで話しやすい言葉にしてはどうか。

委員

この後計画ができて、最初のページにこれがあるとして、念頭に町民が頑張っていく。町でもいろんな施策をするときに、困ったらこれに立ち返って考えてほしいというもの。この文章にどれほど町の施策を動かす力があるのか。

どこまでも磨き高める未来へと歩みを進めるとあるが、そういう施策をやりたいというときに、これまでやっていなかった取組として採用されるのか。

事務局

当然事業を進めていく中で、この長期総合計画が大元となる。そのために時間をかけて審議いただいている。予算に反映するかどうかは言い切れない。ただ、現実的な話だけではなく、この中に書かれていることは極力反映していきたいと考えてはいる。

シンプルにするという話もあるが、周知用のパンフレットなども作成する中では伝わりやすいように考えさせていただく。

委員

パンフレットはどのくらいをどこに配っているか。

事務局

概要版を住民向けに配っている。

委員

見やすさと内容との両方を考えていかないと住民に伝わらないと思う。

分厚い冊子にしないことと、文章ベースのみではなく、見やすく伝わるものにする必要がある。

事務局

配布用のものは見開き数ページの簡易なものを想定している。

委員

行政発行の文章なので、誤解をされないことが一番必要。シンプルにタイトルだけにできれば良いが、誤解をされないように説明文が大きくなっていくところはある。詳細は本編をみるようにして、できるだけシンプルに作成するということではある。

委員

タイトルの「この町の価値を、未来の力に」は2段落目に集約されていると考えてよいか。

第2段落が最初にきた方がよいのではないか。未来を動かしていくような力を創造すると表現できる。最初の3行が邪魔なような気がする。

本当に言いたいことが良く分からなくなる。大抵の人が最初の方しか読まないの。

委員

1段落目は前提、2段落目が本質、3段落目が未来の力について細かく書いている、4段落目に誰がやるのかを説明しているかと思う。ご指摘のあったように、最後の文章では繰り返しの内容になっているかもしれない。割と中身が繰り返しの内容になっている。

「この場所に集うすべての人がつながり、世界から選ばれる北広島を創り上げていきます。」としてはどうか。すべての人とみんなは同じ意味。それを主語だったとすると、つながり選ばれ続ける北広島を作り上げるとすればシンプルになるのではないか。

詩的な表現の文章なので、調整してはどうか。ご意見いただいた上で、最終判断としては事務局と相談して委員長判断とさせていただければと思う。

委員

この一つずつと施策分野が関連していないということでよいか。  
方針のイメージを整理してから、施策分野にいくのか。

委員

施策分野については前回第2次のとときと変えていないということのようだ。  
資料3については「概ねよし」というところまで進めたい。

委員

真ん中の四角の3つが主に感動と活力の好循環を生み出す施策となるか。図を見るだけでは関連性がよくわからない。

委員

前とほぼ一緒に場所が少し変わっているのだと思う。新しく「この町の価値を、未来の力に」が真ん中に来るべき。変えていかないと辻褄が合わないと思う。前のこの資料と前の資料を一緒だけど順番が違うということだと思う。真ん中が変わるのならもう少し変えていく必要があるのではないか。

事務局

「感動・活力と未来の力に」について、いまの内容とも大きな齟齬があると思っていなかったのも、そのままにしていた。

循環を生み出すということは説明が必要だと思う。感動・活力というものも計画全体を通してのキーワードにはなってきていると思っているので、こちらではその言葉を使わせていただいた。

委員

「みんなで作り上げる」という意味をこの図にも分かるように表現した方が良いのではないか。将来像に使ったキーワードをこちらに使わないと伝わらないのではないか。

委員

将来像案と重点方針のイメージは一对一にはならないのではないか。ただご指摘のとおり全く違うものが書かれていることもおかしいと思う。どれくらいのエッセンスが入れられるか。揃えられる文言は

揃えていくことがよいのではないか。

循環は絵を見れば分かるので、文字が無くてもよいのではないか。

委員

上位区分に将来像があり、それを基に重点方針があるのであれば、重複が少ない。前回のものと同じすぎるので、重なりが想像できない。

委員

読み解いて、説明を受ければ、つながりや要素が入っているということも分かると思うが、ぱっと読み取れるかと言われれば難しい。どこまで表現を反映できるかは難しいが、要素を入れて、書き方について将来像案を踏まえたものとして調整が必要だと思う。

重点方針についても改めて委員長最終判断のもと、調整させていただければと思う。

委員

将来像案の趣旨ともいえる2段落目が、ほぼ、「地域の魅力を活かした、交流・関係人口及び移住・定住人口の増加」にイコールとなっている。「地域に根付き未来を担うひとづくり」が次の3段落目のような気がする。ここは「若者をはじめとした」と書いてあるが、要するに町民や関係人口が一步踏み出せるような活気あふれる姿を目指している。という意味だろうと思う。

では、「働く場の創出と魅力向上」はどこにあるのか。町内外に向けた情報発信、情報の共有であったり、ひとや地域をつなぐネットワークの強化というのが全体を支える部分と同じ立ち位置にいないか。この3つが循環するわけではなく、地域に根付き未来を担う“人”がいて、“魅力”があって、それを“地域の力”に変えていこうとする、両方が相乗効果を出していくために情報とネットワークと働く部分が土台にあるイメージが強い。

委員

要素はきっちり出ているが、関わり合いがこの矢印でよいのか。という認識で良いのか。

委員

価値や未来の力を出してこないと一致しない。価値とはなんだろう、どこにどう書いてあるかが読み取れない。

委員

この「まちの価値を、未来の力に」を真ん中にするのであれば、要はこういうことという意味にするとわかりやすいのではないか。

説明している文章をまとめた何かを関連付けていくのがよいのではないか。

#### 委員

将来像と重点方針を一对一にするとすればその案が良いと思うが、もう一つ上の区分の理解であった。その上でズレがあったので、図そのものを変える必要があるかもしれないが、それぞれが意味するものは重点方針には入っているかと思う。表記として、将来像案に寄せることは良いかと思う。

#### 事務局

重点方針案はこれがあって、みなさんの意見をきいてズレがないかは検討している。内容的にはずれていないが、見方としてのズレがあるかもしれない。

#### 委員

若干ズレがあるのではないかと考えている。「地域の魅力を活かした、交流・関係人口及び移住・定住人口の増加」が若干強く表現された将来像になったものだと思う。総花的なものからどこかを少し大きくしないといけないのではないか。

#### 委員

重点方針なので、将来像と一对一になる必要はないと思う。一番大切にしている、将来像はどこに影響を及ぼしていくのか、将来像を達成するためには、どれが強いのか。直接関連の無い重点方針もあるべきだと思う。将来像案を達成するためのポイントはこれだと、存在感がある方が伝わりやすいと思う。表現してほしい。

#### 委員

将来像案があるなかで、実現するために必要なツールや施策として、具体的なものになっているので、その関係性が一对一にはならない。ただ、書いてあることが重点方針に出てこないのは具合が悪いのも確か。

具体的に将来像案を実現するための施策・取組がこうなっているというのが重点方針になっているべきである。

#### 事務局

いまの将来像を真ん中に入れて、段落ごとに書いている内容を一対一でおくべきということか。

#### 委員

人と未来、若者がいままでになかった、違う部分だと思う。地域の価値の部分を大きくするというイメージ。働く場も必要だし、連動する部分もあるが、いまのものに囚われずに、新しく考えたい。

もっと面白い、斬新なものでもよいと思う。

#### 委員

どうしても「交流・関係人口及び移住・定住人口の増加」にこだわりたいか。将来像案の中のこの町に集う全ての人の力を集める。というのは良い表現。欲を出して交流関係人口、移住定住人口などをしなくても、いろんな関りのなかで、みんなが協力して、共に創り上げていくイメージが好きである。ここで交流・関係人口、移住・定住人口の増加と書かれているが、地域の魅力を活かしてそれをしようとしているわけではない。結果的にそうなれば良いが、それを目的としていない。

人口、人口と出てくるとどうしても拒否感がある。

文面に入っていることはよいが、タイトルとして使用することはどうかと思う。交流関係人口や移住定住人口を増やしていくために「地域の魅力を活かして」いきましょうという将来像からするとちょっと違うようなことだと思う。

#### 委員

資料3を見て資料2が創造できない。

人口を追うだけの取組からの脱却が大きいのに、人口の増加が大きく出ているのはあわないと思う。

3段落目が重要で、目指すものとなっていることが、資料3に落ちてくるべき。若者や子どもたちという言葉が出てきて、我々は何をするべきかというときに活気や風土など、資料3で見たい。働く場のところが将来像の説明からは読み取れない。

#### 委員

一対一ではないということはよくわかるが、将来像の言葉が重点方針のどこかにほしいと思う。3つの循環を表す言葉が本当にこれなのか。地域の魅力を際立たせるのかどうなのか。

この将来像が真ん中ではない方が良いとも感じる。

#### 委員

新たな重点方針のイメージと書いてある。イラストにしてはどうか。真ん中に大きな木があり、土台があって、根として良い部分が支える。枝葉として若者の挑戦など。

委員

矢印があるから難しいのかなと思う。循環はわかるが、この通りにしたら、未来の力につながっていくのかわからない。絵の方がイメージできる気がする。

事務局

確かに図がイメージ掴めないということで、真ん中の循環しているイメージにいろんな施策が入ってくる。緑色の部分が人に来てもらうところ、上の黄色の部分が生活をしていただく、青い部分が住んでいくために仕事をしないといけないという3つの要素がどうしても必要であるために、どれかがスタートであって、どれかが終わりということではなく、全てが同時に伸びていく必要があるということ。

委員

前の資料ではあるが、このイメージでよいのではないか。

事務局

中身をベースにしつつ考えてみる。イラストにするかどうかは持ち帰って検討する。

委員

資料2は明確な意思表示で良い。資料3は見て再確認できないといけない。資料4は意思表示のイメージを具体的に落とし込んだもの。なかなかつながりがはっきりしない。

資料3の中の施策は書く必要があるのか。文字が多くて、読みにくい。シンプルにした方が良い。

資料4の施策部分も番号打たずに点だけでも良いのではないか。

事務局

役所としては、数字が振ってあれば数字でどの施策のことか判別できるので、使用しやすいものである。文字が多いなど見せ方は工夫をさせていただきたい。

委員

人は文字を読まないで、できるだけ分かりやすい方がいい。説明を聞けば意味がわかる。シンプルに重点方針があって、それを支えるためになにがあるということが分かればよい。言葉は考えていくうちにどんどん変わってくる、あまり固めずになんとなく大枠、骨組みを決めた後で細かいことを決められ

たらと思う。

一対一ではないということで、「ミッション・バリュー・パーパス」のようなものかと思う。将来像を達成するために何をしないといけないといけないのかを整理するのが重点方針かと思う。ぱっと見て、わかりやすくしてほしい。

#### 委員

木に例えることも、前にやったことがある。幹となるものが何なのかは将来像案の中にもある。それがはっきりしたほうが良い。行政として難しい部分もわかるので、読む人がこの10年間で町は何をしていきたいのかが分かるようにしてほしい。

まずは目から入ってくるこういった図をわかりやすくしてほしい。

#### 委員

重点イメージの部分に人口減少の資料を見て、ものすごい勢いという事実がみえた。その感覚を重点方針のどこかに入れてほしい、住民もなにかを変えていかないといけないという資料にしてもらえたら良いかと思う。

#### 事務局

参考にさせていただく。

なにか見える形で出していきたいと思う。

#### 委員

前回の計画とは違う新しい視点や方向性を打ち出し、そのマインドを大切にするということは、委員から繰り返し出ている意見である。そこは、委員の意見としてしっかり取り入れてほしい。

## 5. その他

次回委員会は調整してご連絡する。

資料も早めに送付させていただきたい。

## 6. 閉会あいさつ

暑い日が続く中、お時間割いていただきありがとうございます。ご意見いただいて、認識の甘いところがあった。次の時にもしっかりとしたものを作らせていただきご議論いただきたい。12月の完成を目指しているため、議論のテンポが速くなるかもしれないがご理解いただきたい。

## 7. 閉会